

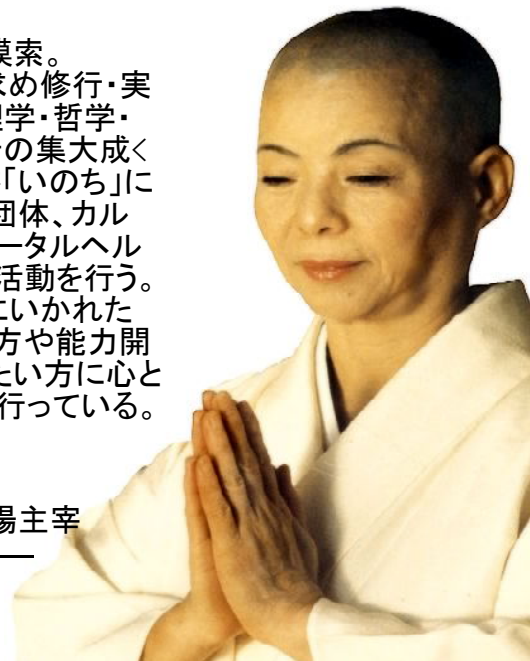
けやき

第24号(2008年夏秋号)

発行日:平成20年10月
発行者:心健導場主宰 天明
住所:〒167-0052
杉並区南荻窪2-7-12
TEL:03-3334-2527

宮崎県出身。自分を模索。
心と体について師を求め修行・実践。その間、深層心理学・哲学・東洋医学を研究し、その集大成く3と97の理論を著書「いのち」に著した。現在、企業、団体、カルチャースクール等でトータルヘルスマネジメントの公演活動を行う。また、あらゆるところにいかれたのにもならない方や能力開発のために力をつけたい方に心と体のカウンセリングを行っている。

天明 てんめい
心健導場主宰



「天命」を受けてから激動の2ヶ月半でした

けやきの夏号がお手元に届かなくてどうしたのかなと思っていた方もいるかと思いますが、それは私が天から受けた使命成就の一報を待っていたからです。

その一報は、原稿打ち合わせの当日に入ってきました。この使命を頂いてから、まるで「天のシナリオ」があるかのようにものすごいことが起こり始めたのです。今回はこの2ヶ月半の出来事をご紹介します。



7月16日 天からある使命を授かる

天からある使命を授かったのは、7月16日のことです。7月28日からは、台湾へ出かけて、ゼロ磁場でエネルギーの充電をしまいいりました。帰国後、すぐに向かったのは、岐阜県関市の霊峰高賀山での滝行です。ここで禊ぎをしてきました。

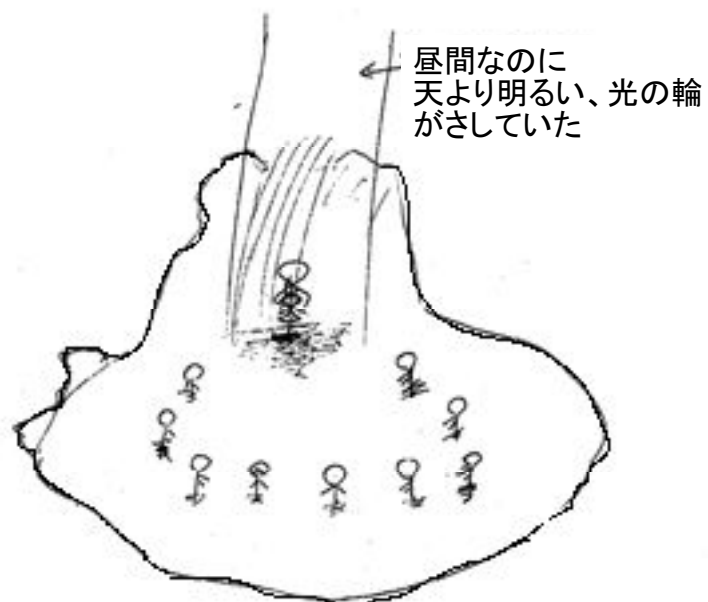
今年は川の水量が多く、水の勢いは強いものでした。

そしてその滝行の最中、全員に天より、明るい“光の輪”がさしこんできたのです。

釈先生のお弟子さんの竹翠さんが何度もここで滝行を体験されていますが、これまでに見たことがない光でしたとおっしゃっていました。

全員がひきあげた後に、他のカップルが滝に打たれていましたが、「こんな光を見ることはありませんでした」と竹翠さんから聞きました。私たちは滝行で精一杯でしたので、その光には気づきませんでした。





8月20日 いよいよ天命の石を探して、八甲田山へ

大雨、1メートル先が見えないような霧の中を5個の石を探しに八甲田山へと出かけました。

3つ目の石を見つけての帰り道、硫黄が出ている間欠泉がありました。今はガスが出ていないにも関わらず、立入禁止になっていましたが、そのロープを越えて、「八甲田山の息抜きをしないとイケない」と感じてお祓いをしていると、なんとガスが出てきました。3人は「危険」と思って慌てて飛び出しましたが、そのお祓いで山が蘇ったのです。その隣には温泉の地獄池があります。往く道にはなかったのに帰り道でのこと。滝の下に「白龍」が昇っているのを車を止めて3人で見ました。

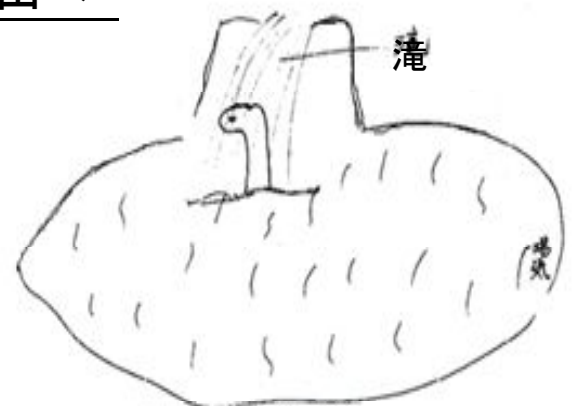
そして八甲田山から下山してきて昼食しようと、車を止めたとき、空にふたたび「白龍」が出てきたのです。周りは曇っているのですが、そこだけがポックリ青空になっていてあいています。

「ああ、龍だね」「御苦労さまと言っているよ」と言って、食事をしました。

翌日、十和田湖の湖畔にある十和田神社にお参りすると、今度はヘビが歓迎してくれたのです。

そして、他の数か所のお参りも済ませてきました。

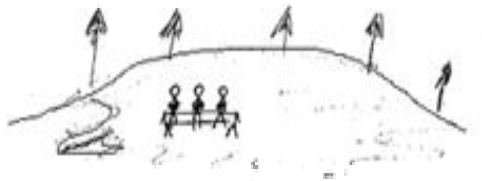
こんな不思議なことばかりがこれから起き始めるのです。



石を持って帰る途中の地獄池で「白龍」出てくる



八甲田山から下山して昼食中、ポックリ青空に「白龍」が出てきた



8月24日 八甲田山の石がピタッとくっつく

十和田から、秋田大曲での花火大会に参加して帰ってきた翌日の24日、八甲田山で頂いてきた3つの石を触っていると、その2つの石がピタッとくっついたのです。そして三角の小石が手前におさまったのです。この3つの石は、まったく別々の場所で頂いてきた石です。ほんとうに不思議です。これを写真に撮り、この状態のままで聖地に納めるようにとお伝えしました。

8月25日、その3つの石を聖地に赴く人のところへと持参しました。

9月2日、とつぜん、「9月11日」という日付が頭の中に浮かんできました。その時は何のことはわかっていません。



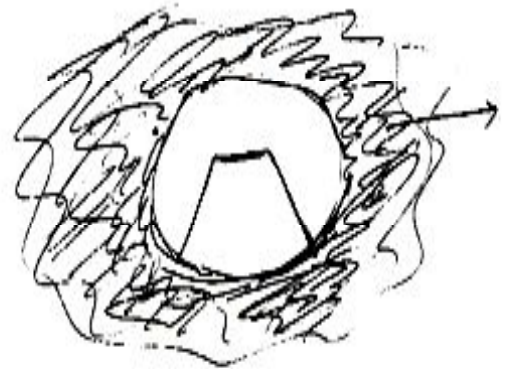
9月6日 八甲田山の石3つを持って、出国されました。

《9月9日 金正日総書記 建国60周年式典に欠席》

《9月11日、アメリカが金総書記、脳卒中と発表する》

という報道がありましたが、9月2日に私の頭の中に出てきた「9月11日」
というのはこのことだとピンと来たのです。天からのメッセージは、
1週間も前に私に届いていたのです。

本栖湖で見た富士山



どんよりと厚い雨雲がある中、2、3分で雨
雲が消えて、くっきり青空になったところに富
士山のとっぺんが浮かんできたのです。

9月21日、七面山の下見に出かけました

七面山の下見に出かけました。その日は、大雨で、参道が川のように
なるようなありさまで、宿坊に着くと、リュックサックの中に水がた
まっているほどでした。

そのため、翌日早朝5時のご来光は、残念でした。

9月23日AM11時、富士山を見ようと、本栖湖に着いた時には、雨
雲で全然見えませんでした。10台くらい車がいましたが、諦めて
帰ってしまいました。私たちの2台とほかに1台が残って待っていま
したが、「じゃあ帰ろうか」「もう無理よ」と言って帰ろうとした時、宮下
さんが「見えた」という。その時、天明は両手で雲を払っていました。

そして2、3分後、ポツカリと富士山の頂上が見えてきたのです。そ
こにいた6人(子供2人)はもうビックリ。「なに!？」と鳥肌が立ち、全
員で涙しました。

そして、精進湖に行きました。

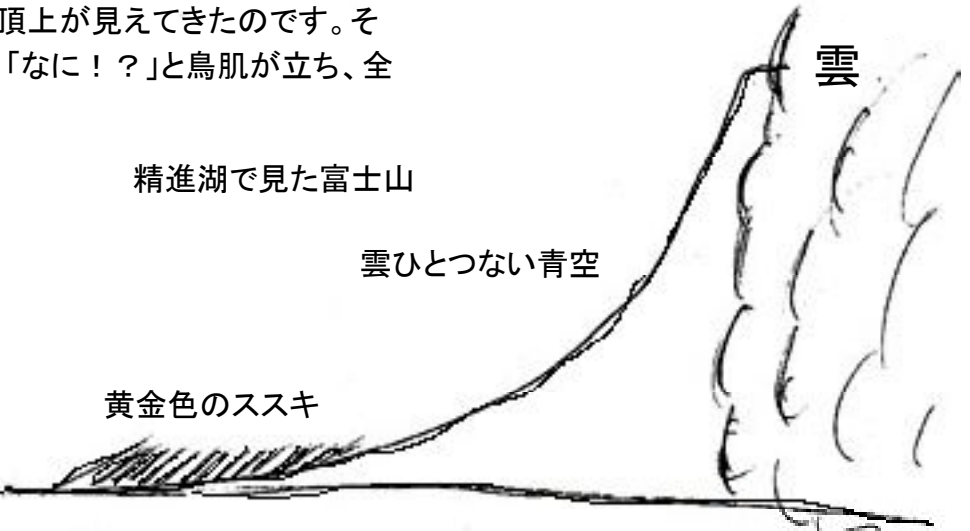
精進湖で見た富士山

そこからは富士山のすそ野にひろが
るススキが黄金色に輝いて見えました。

雲ひとつない青空

そして富士山を見ると、右半分は雲が
かかっている、半分が青空で見えてい
るのです。写真を撮る暇ありません。
みんな、口を開けて「ああ」と言っている
だけです。みんな、こんな富士山を見た
ことはなかったのです。

黄金色のススキ



不思議なことは、続きます。

西湖に行きました。

すると、今度は左半分は雲がか
かっている、右半分が見えているの
です。

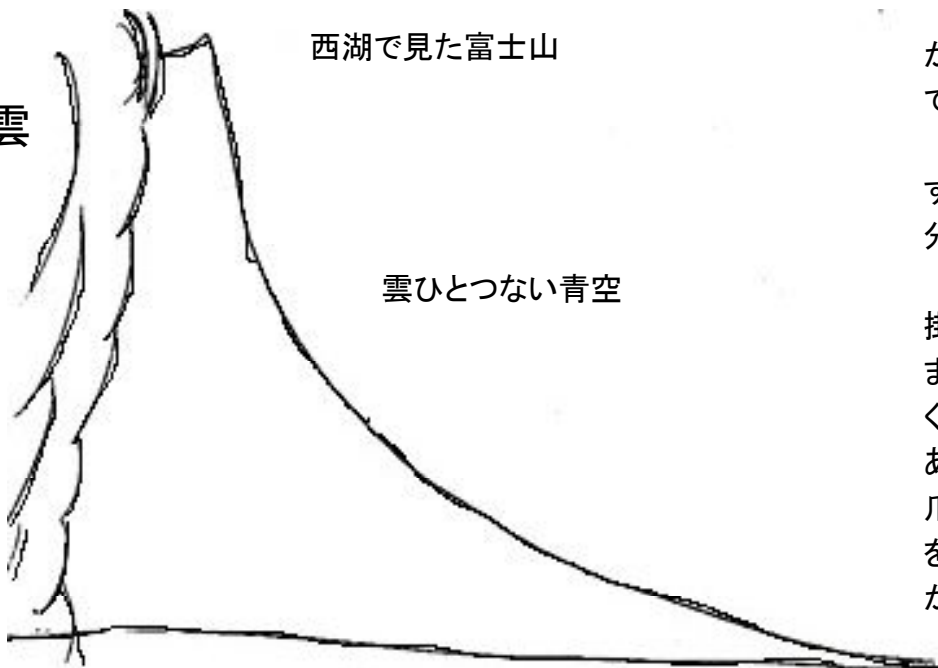
こんな富士山、考えられますか。
すそ野まで見えているのですが、半
分は雲に覆われているのです。

そして車で移動中、河口湖に差し
掛かる頃には富士山は全景、すそ野
まで見えてきました。すると、3分の1
くらいの高さのところに「白龍」が2体
あらわれたのです。口ひげがあり、
爪もある龍で、左は優しい龍で口
を開けています。そして右の龍と口
がつながっているのです。

西湖で見た富士山

雲

雲ひとつない青空



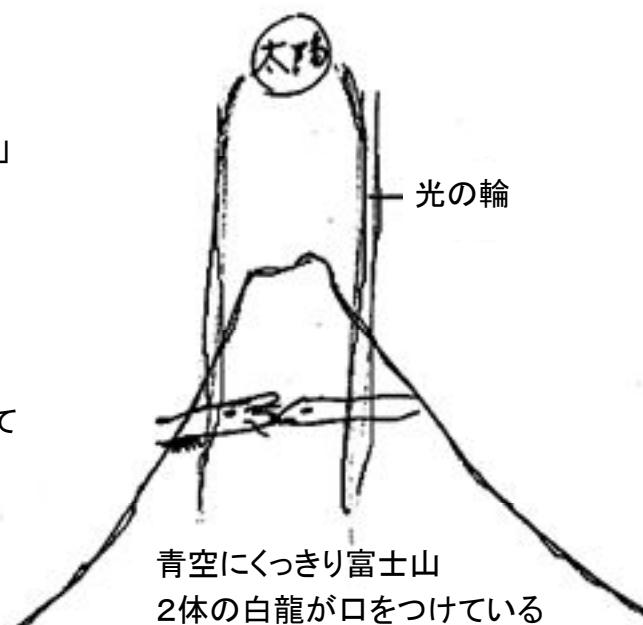
すると、宮下さんが「先生、虹が出ている」と言うのです。
「どこ？」と虹を探したのですが、見つけれませんでした。
実は虹ではなく、天空（太陽）からの「光の輪」が2体の「白龍」
に差し込んでいたのです。

車の移動中だったので、この光景を見たのは宮下さんだけ
でした。残念。

こんなことがあるでしょうか。これは本当のことなんです。

そして9月30日です。この原稿は、この日に書くようになって
いたのです。

「石を納めて無事帰国しました」との報告を受けました。
これで皆様にこの出来事をご報告することができるように
なったのです。



7月28日から31日まで

まほろば台湾ツアー

に参加してきました。

7月28日から31日までの間、株式会社アフロデিজア主宰の「まほろば台湾の旅」に参加させて
頂きました、台湾のゼロ磁場で、エネルギー充電をしてきました。



参加者と恵森農場のスタッフ
といっしょに記念写真

↓ 後方に五指山



← 飛行機はビジネスクラスのちょっとリッチな旅です。

8月23日 秋田

大曲の花火

に参加してきました

「大曲の花火」は、正式には、「大曲の花火・全国花火競技大会」と呼ばれるそうです。

全国の花火師たちがこの大曲にやってきて、精魂込めた花火を打ち上げ、自分の腕を披露するのです。

2800発の花火が一度に打ち上がるのです。もう言葉がありません。すごい、素晴らしいの一言です。

人口4万人の町に、花火大会当日には約80万人が押し寄せてくるのです。わかりますか。

特別桟敷席をご用意いただきました、株式会社タニタの谷田大輔社長と奥さまに心から感謝申し上げます。

→
花火があがるたびに
桟敷席がゆらぎ、
ドドドッ！と地面が
もりあがる感じです。
最後に花火師と観客が
川をはさんで、
ありがとう、ありがとう
.....



谷田社長と奥さま

参加したセブンティーン
クラブのみなさま



平成20年1月11日(金)の夕方、友人3人に会うために家を出たところ、急に膝に力が入らなくなり、転倒してしまいました。バスの発車時間が迫っていたので走っていて、勢いがついていました。顔の左側をものすごい衝撃がありました。

それからどのように家に帰ったかはわかりません。家に帰ると、右手親指と左手小指、両膝も強打したようで、激しい痛みがありました。

なんとか歩けるようになって、天明先生のところに行った時に、「その時の状況は」と聞かれて、「覚えていません」と言ったら、「それはあなたがその時に目をつぶったからです。どんな時でも目をしっかり見開いていれば、かすり傷ですんだのです。目をつぶるというのは、自分で生命を捨てていることです。でも、衝撃が手や足に飛んでいたのよかったです。額だけに集中していたら、ぐしゃぐしゃになって大変なことになっていた。あなたの身体があなたを守ったのよ。生命をとられなくてよかった」と言われました。

そして、「どんなにか痛かったでしょう。よく我慢したわね」と言われたとたん、涙がポロポロと出てきました。

家に帰ってから、自分の身体に「よく頑張ったね」と心の中で言ったら、後から後から涙が出てきました。

2回目に伺った時に、天明先生にそのことを話したら、「涙は心のお掃除ですよ。3の頭と97の身体が1つになったのですよ。便や尿や痰は身体のお掃除です」と言われました。

転ぶ前日に、お台所をしていたら、足が重くだるくて違和感がありました。そのことも天明先生に話したら、「それは身体が未病(病気になる前)を教えてくれていたのですよ。その時に足を温めたり、天馬でマッサージするとよかったのよ」と教えて頂き、足先を触られて、「こんなに冷たいから転んだのよ。帰宅してすぐにバケツに足の踝が浸かるくらいのお湯をいれて、5分間足を温めるといいですよ。熱くなったら出して、足が真っ赤になるくらいまでね」と教えていただきました。

家に帰ってから教わったとおり、熱い湯に足を入れたり出したりしましたから、本当に足が真っ赤になってポカポカしてきました。

自分の中に自分の身体を守る本能があることに気付きました。

私の場合は、前日に「足が重くだるい」というお知らせがありました。

これからは、そのようなメッセージに気づいて、行動し、また、目をしっかり見開いて、怪我も病も未然に防ぎたいと思います。

会員さんの声

おめでとうございます

- 1月22日 武藤和代御夫妻に長女 美月さん誕生
- 1月27日 青木弘和・みゆき御夫妻に四女 リリかさん誕生
- 6月 2日 豊泉匡範・晴子御夫妻に長男 欧祐君誕生
- 6月27日 宮下勝行・由佳御夫妻に長男 惣太君誕生
- 7月21日 遠藤幹也・かおる御夫妻に長男 颯汰君誕生
- 8月21日 宮下雄一郎・紀子御夫妻に長男 神之介君誕生

平成20年4月 年少入園(3歳児) 池田桃子さん

おくやみ申し上げます。
ごくろうさまでした。

- 4月12日 小黒健次郎様
- 5月18日 藤井弓子様
- 5月26日 宮澤昭平様

ごあんない

中津川・天明講演会
11月8日、9日

南木曾、中津川の特老にて
ボランティア講演会を行います。
ぜひお越しください。



忘年「もちつき大会」
を今年も開催します

2008年

12月20日(土) AM11.00 ~ PM3.00

場所 / 心健導場

杉並区南荻窪2-7-12
JR中央線・西荻窪下車

参加は無料です。ぜひご参加ください。

1. 平成9年3月31日、悪夢の始まり
メイン銀行より融資がストップとなり、他の金融機関も追随した。会社は、顧問弁護士に相談、自己破産の道を選択した。
2. 翌日から1ヶ月、悪夢の日々であった
債権者からの電話。社長への連絡問い合わせ、事後処理の方法など、また、個人的には、会社関連の役員としての補償債務で銀行より返済を求められた。
補償債務は、3行で約3650万円であった。
3. A銀行の3000万円は、銀行に出向き、支店長に相談。返済は不可能であろうとの見解で請求の姿勢もなかった。B銀行の150万円は今までのお付き合いがあり、融資責任者から免責申請を本部へ出していただき解決した。
4. C銀行の500万円は、強硬に返済を迫られた。無収入であり、当面、破産管財人の手伝いをしなければならなくなり、毎月1万円の返済をすることになった。2年ほど返済してから銀行より精算の話があり、15万円で本部へ決済願いを出すから了解してほしい旨話があり、有難い話であり了解した。
しかし、本部の決済が下りず、話も棚上げになってしまった。
5. 平成19年7月、突然、債権回収機構より文書で全額返済を迫る連絡があり、愕然とした。
その後、債権回収機構より担当者の3度ほどの訪問で、30万円で話ができて、ようやく解決となった。
なんと自己破産から10年でようやく心の苦しみがとれ、妻ともどもほっとできました。
6. 天明先生との出会いから解決の方向にむかったように感じます。
ありがとうございました。
出会いによって、人生が大きく変化する不思議を感じます。



北京パラリンピック・募金のご報告

北京オリンピック、そしてパラリンピックが終わり、涙と笑顔と感動をいただきました。

この北京パラリンピックを応援しようと、7人のリーダーの皆さまが暑い中を募金箱をもって呼びかけてくださいました。また、けやきの会会員様にもご協力を頂きまして、ほんとうにありがとうございます。

天明の導場には、平成4年の新築祝いで頂いた「金の壺」があります。
その壺に、1円玉、5円玉、10円玉、たまには100円玉と、毎日毎日、「1億円になあーれ」とお金を入れてきましたが、お金がこぼれるほどになりましたので、郵便局にもっていきました。

この16年間で、1円、5円、10円が貯まって、11万8686円にもなりました。

1人1人は小さなことでも、思いやりの絆をつなげていけば、形になっていくことを体験しました。

今では再び、この「金の壺」にお金を入れ始めています。

ご協力いただきました皆様、心よりありがとうございました。

けやきの会G	43.752
光 宝 堂G	10.000
ホテル守田G	5.404
みつげんG	13.862
福島みえ子G	4.433
宮下美保子G	24.041
松川禮子G	27.000
松川万里子G	2.559
天明	118.686

合計 249.737円

天明ブログを開設しました 「心健導場イベント・日記」

ホームページよりご覧いただけます

天明・活動報告

2008年5月～2008年9月

5月 1日 天明講演会
19日 通夜、告別式 弓子さん
21日 新潟アサヒ医王クリニックへ
24日 田植えツアー(埼玉へ)
29日 宮澤氏告別式
(操法) 3日、4日、5日、6日、7日、9日、12日、13日、
17日、18日、20日、22日、25日、27日、31日
(出張操法) 2日板橋、8日五反田、9日板橋、16日板橋、
20日八王子、23日板橋
6月 3日 会報誌「けやき23号」発送作業(～4日)
5日 天明講演会
7日 川渡エコラの森へ 植林と間伐へ(～8日)
13日 **3** 商標登録
21日 伊豆研修(きらの里)(～23日)
25日 息吹会
28日 南木曾・中津川講演会(～31日)
(操法) 1日、6日、9日、10日、11日、15日、18日、
20日、24日、26日、27日
(出張操法) 6日板橋、13日板橋、16日甲府下部、
19日中條氏、20日板橋
7月 3日 天明講演会
5日 伊東(ツカサ)へ セタ祭り(～6日)
11日 中村クリニックへ 保科様 ヒロ代
12日 埼玉河端様へ 安保徹教授講演へ(～13日)
14日 初盆 末子さん 話し合う
16日 山浦会 (大きな使命受ける)
19日 日高悠子さん上京 都内案内
22日 諒君手術
26日 中村クリニックへ 保科様 ヒロ代
28日 台湾研修へ(～31日)
(操法) 1日、2日、8日、12日、15日、17日、18日、
19日、22日、23日、24日、26日
(出張操法) 18日板橋

8月 1日 岐阜県羽島、白水の滝行 板取川で水行(～3日)
7日 天明講演会
10日 伊東(ツカサ) 花火大会・按針祭(～11日)
19日 パラリンピックへ送金
20日 八甲田山 ～ 十和田湖(～21日)
22日 角館 ～ 大曲(花火)(～24日)
25日 八甲田山の石(3つ)を届ける
27日 息吹会
30日 益子のカマ元へ(～9月1日)
30日 Eさんに石預ける
(操法) 5日、8日、9日、14日、19日、25日、29日、30日
(出張操法) 8日板橋、13日南木曾、26日南木曾、28日八王子
9月 4日 天明講演会
11日 金氏、手のひらの上に北まくらで横寝
13日 致知30周年パーティー
16日 葉祥明先生へ 平野良代と
18日 山浦氏に11日のことを伝える
19日 パソコンをフジカンパニー(株)よりひきつぎ
20日 島野先生来導
21日 七面山下見(～22日)
23日 富士山と本栖湖、精進湖、西湖、根場(昼食)
河口湖
24日 息吹会
27日 孫の運動会へ
30日 AM11.33 Eさん帰国
(操法) 5日、9日、10日、11日、12日、17日、19日、
20日、24日、25日、26日
(出張操法) 3日板橋中央病院、6日南木曾、
10日板橋中央病院へ、14日南木曾、
15日板橋中央病院、16日代々木、
17日代々木、18日代々木、
22日下部、28日南木曾、30日八王子

天明 講演の会

毎月第1木曜日は
「天明講演会」の日です

2008年11月 6日(木) 342回 自然の絆

12月 4日(木) 343回 この世との絆

2009年 1月 8日(木) 初詣(神田明神)
新年会も開きます

18:15受付開始 18:30～20:00終了予定

会場/ツカサ五反田本社5階

東五反田5-22-37
(JR五反田駅東口/都営浅草線五反田駅A4出口より徒歩5分)

講演終了後は
懇親会も行っております。
ぜひご参加ください。

ホームページから
参加申し込みできます